

2005年9月期決算説明資料

11月21日

NISSHINBO

実績

百万円

	2005年9期	2004年9期	前年同期比	増減率(%)	主な要因
売上高	121,504	121,905	400	0.3	繊維減 37、プレキ減 16、紙減 75、化成品増773、不動産減 105、その他減 940
営業利益	4,947	4,778	168	3.5	繊維増478、プレキ減 641、紙増43、化成品減 21、不動産増減 88、その他増186、全社費用減+211
経常利益	6,742	6,055	687	11.4	受取配当金増214他
特別損益	996	703	1,699	-	(前年同期の特別要因) 厚生年金基金代行返上益減 5,278 減損損失減2,144 (その他の要因) 連結調整勘定償却額減1,368 投資有価証券売却益減 506 特別退職金減246
税引前利益	5,746	6,758	1,012	14.9	
法人税等	1,727	2,752	1,025		
少数株主損益	(-)341	(-)0	(-)341		
当期純利益	3,678	4,005	327	8.2	

[為替レート(円/ドル) 110.62 108.43]

貸借対照表比較

百万円

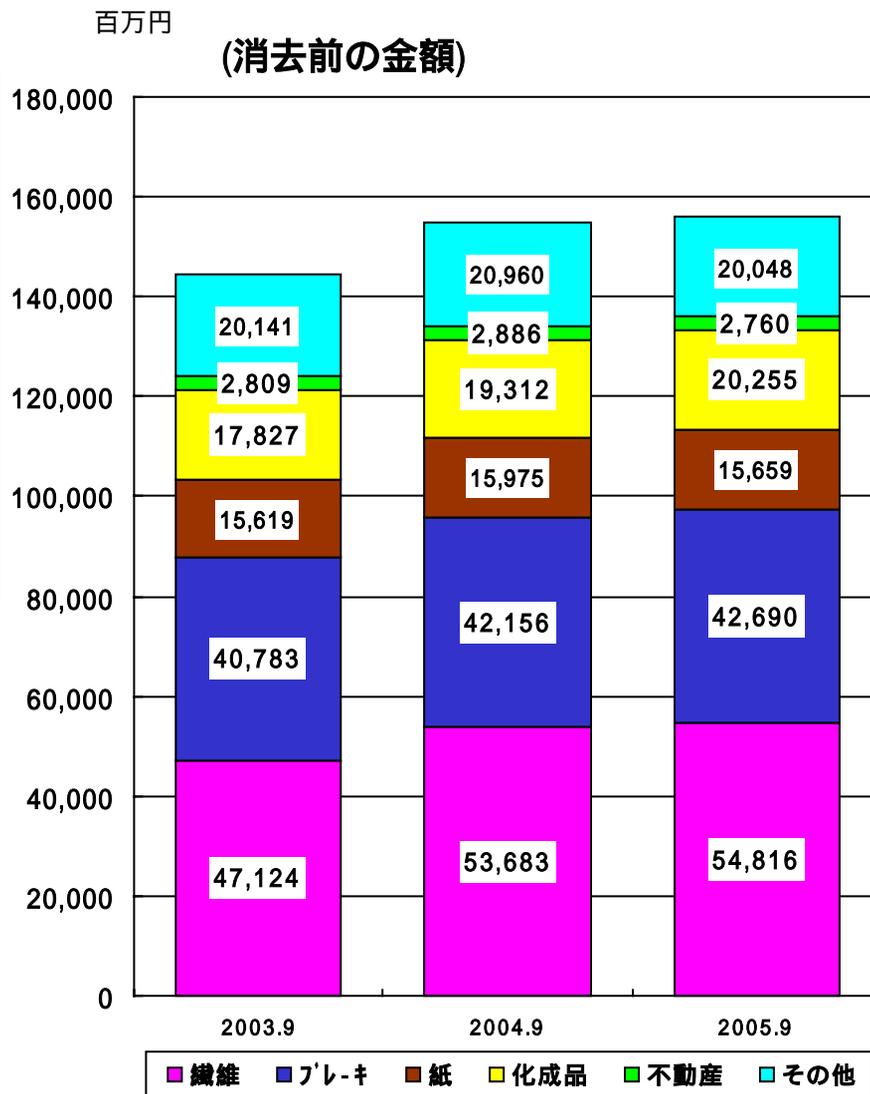
(資産の部)	2005年9期	2005年3期	増減	主な増減内容
棚卸資産	40,032	40,407	375	日清紡減 770 CHOYA減 739 NAC増 520
有形固定資産	103,101	99,781	3,320	取得13,448 償却 5,338, 除却売却 6,678
連結調整勘定	-	464	464	CHOYA株式取得に伴うのれん代償却による
投資有価証券	161,608	122,811	38,797	評価差益増35,332 売却 85 取得3,575

(負債の部)	2005年9期	2005年3期	増減	主な増減内容
短期借入金	37,034	38,194	1,159	上田日本無線減 907
債務保証損失引当金	506	506	-	関係会社への債務保証の履行に備えるため
長期借入金	9,491	9,908	417	
繰延税金負債	41,575	27,518	14,056	有価証券評価益増に伴う増加

(資本の部)	2005年9期	2005年3期	増減	主な増減内容
有価証券評価差額金	63,610	42,691	20,919	有価証券評価益増に伴う増加
自己株式	404	361	42	(自己株式保有数634千株)

売上高(セグメント別内訳)

	2003年9期	2004年9期	2005年9期
繊維	47,124	53,683	54,816
ブレーキ	40,783	42,156	42,690
紙	15,619	15,975	15,659
化成品	17,827	19,312	20,255
不動産	2,809	2,886	2,760
その他	20,141	20,960	20,048
消去	32,285	33,067	34,724
売上高計	112,018	121,905	121,504



繊維 [国内] 微減収

[海外] 増収 ブラジル等子会社好調、日清紡上海新規連結

ブレーキ [国内] 減収 ABS製品のコンティネンタルテ-バスへの営業移管

[海外] 増収 新規受注増

紙 (家庭紙)減収 (洋紙) 増収

化成品 [国内] 増収 子会社の建材部門進出。

[海外] 増収 子会社受注増

不動産 微減収

その他 減収 PDP撤退 ムカロは増収

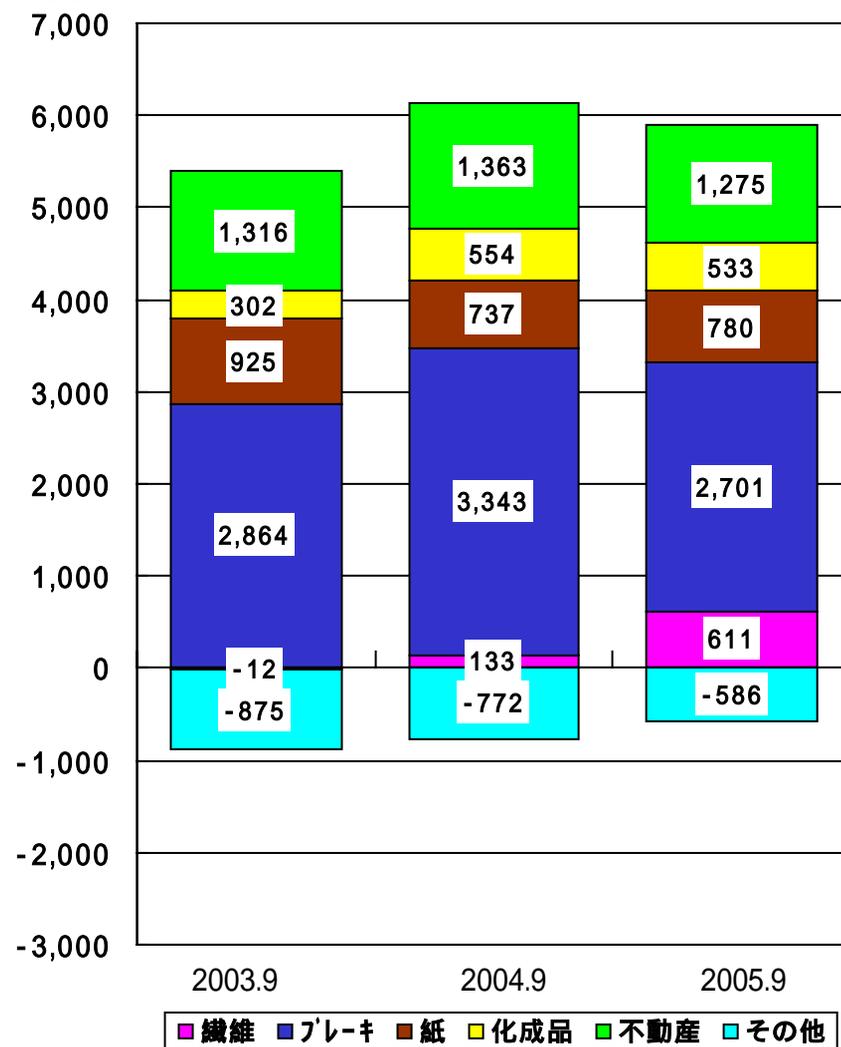
営業利益(セグメント別内訳)

百万円

	2003年9期	2004年9期	2005年9期
繊維	12	133	611
ブレーキ	2,864	3,343	2,701
紙	925	737	780
化成品	302	554	533
不動産	1,316	1,363	1,275
その他	875	772	586
全社費用	502	580	369
営業利益計	4,018	4,778	4,947

- 繊維 : 増益 CHOYA黒字化、海外子会社増益
 ブレーキ : 減益 国内・ABS製品のコンテナルテ-バスへの営業移管等により減益、海外子会社・増益
 紙 : 増益 家庭紙が製品市況の悪化から減益も洋紙好調
 化成品 : 減益 海外子会社好調も国内採算悪化で減益
 不動産 : 減益 賃貸マンション売却
 その他 : 改善 ｶｰﾄﾞ増益・電子機器赤字縮小・PDPフィルタ-撤退

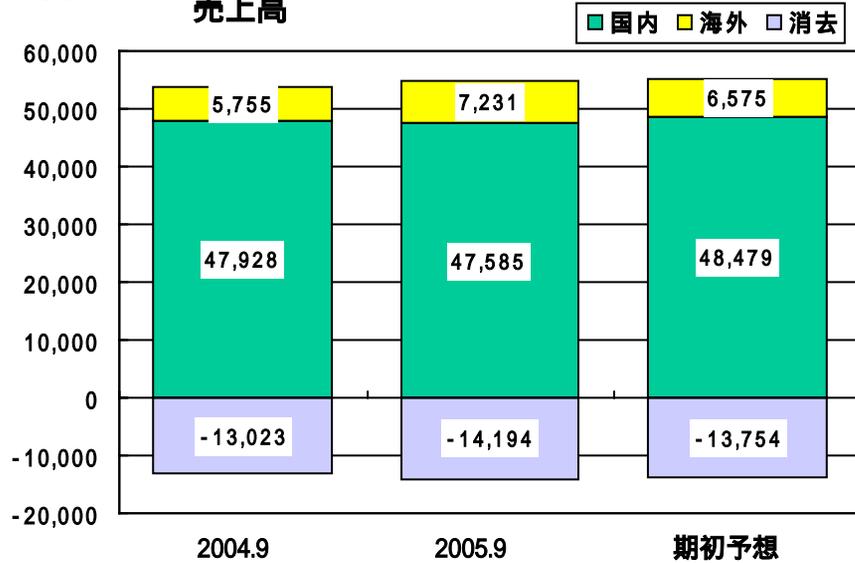
百万円



繊維事業

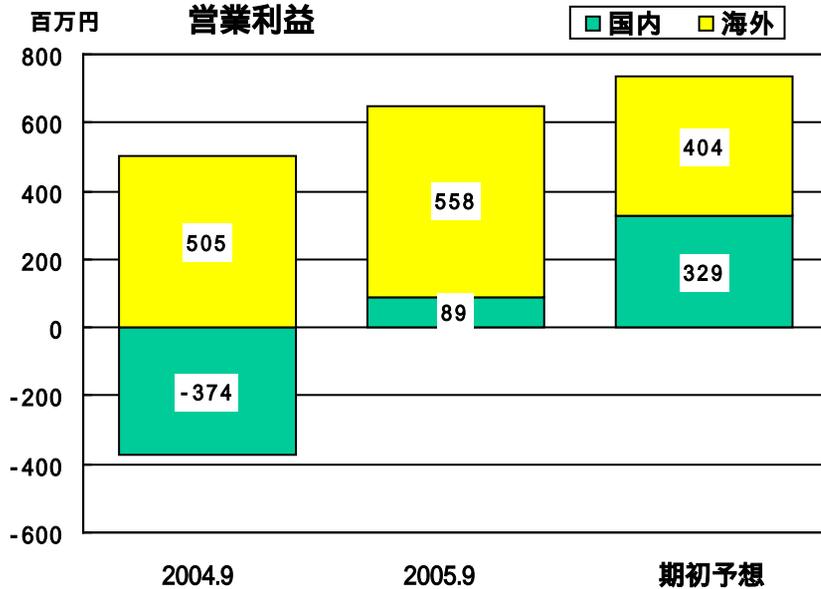
百万円

売上高



百万円

営業利益



	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	27,077	99	26,618	66
CHOYA	6,394	248	6,177	96
その他	14,457	27	14,790	59
国内計	47,928	374	47,585	89
ブラジル日清紡	1,887	273	2,131	376
ギステックス	1,777	97	1,776	99
ニカワテックス	1,995	139	2,221	72
P.T.ナイガイシャツ	96	4	123	5
日清紡上海	—	—	980	6
海外計	5,755	505	7,231	558
消去	13,023	2	14,194	36
合計	40,660	133	40,622	611

(売上高) = 減収

本体: デニム増収、市販系・カジュアル衣料減収

国内子会社: CHOYA他低採算品の販売控え減収

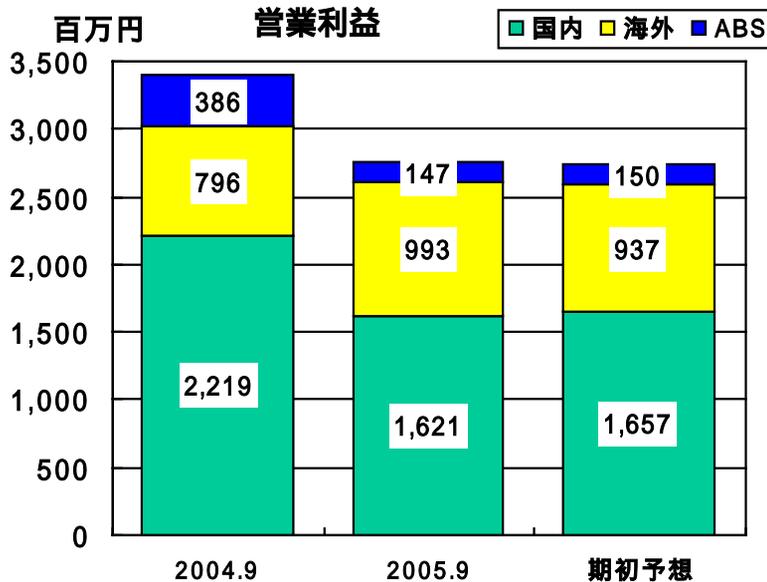
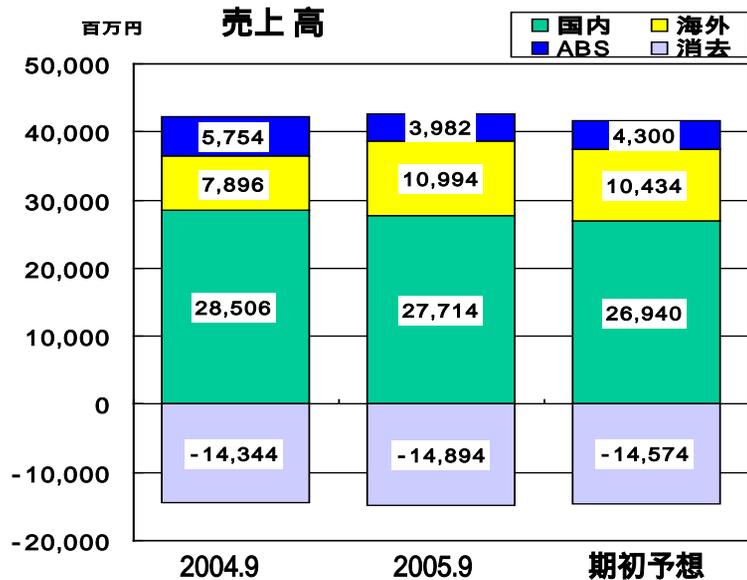
海外子会社: 増収

(営業利益) = 増益

国内はCHOYA黒字化、デニム好調などにより増益

海外はブラジル日清紡好調で増益

ブレーキ事業



	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	14,516	2,067	14,184	1,474
その他	13,990	152	13,530	147
ABS	5,754	386	3,982	147
国内計	34,260	2,605	31,696	1,768
オートモーティブ	2,871	19	4,054	7
ソブーン	1,178	203	1,600	293
セロン	3,847	574	5,176	707
セロン北京	—	—	164	0
海外計	7,896	796	10,994	993
消去	14,344	59	14,894	60
合計	27,812	3,342	27,796	2,701

(売上高) = 減収

国内・ABS製品のコンティネンタル・テークスへの移管、補修用 摩擦材の
受注減などにより減収

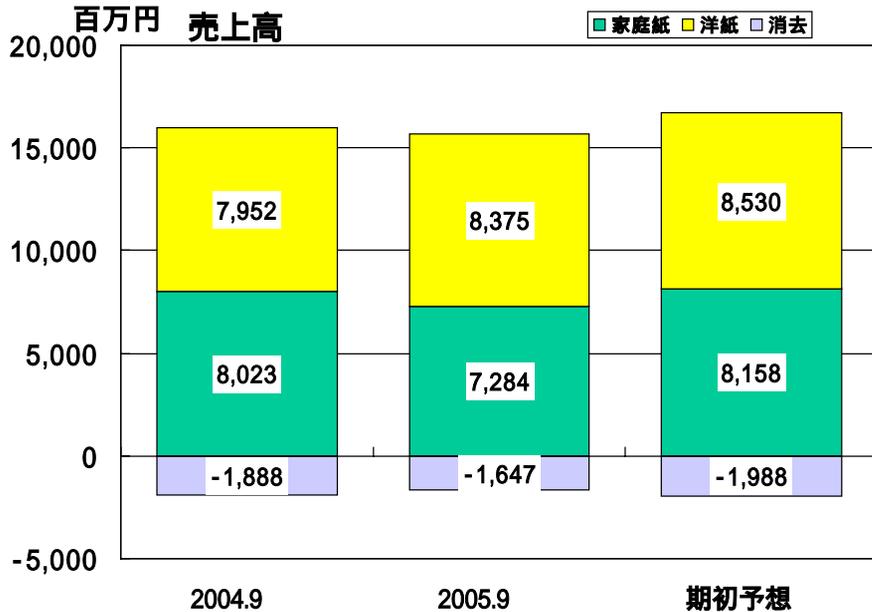
海外・新規受注寄与により増収

(営業利益) = 減益

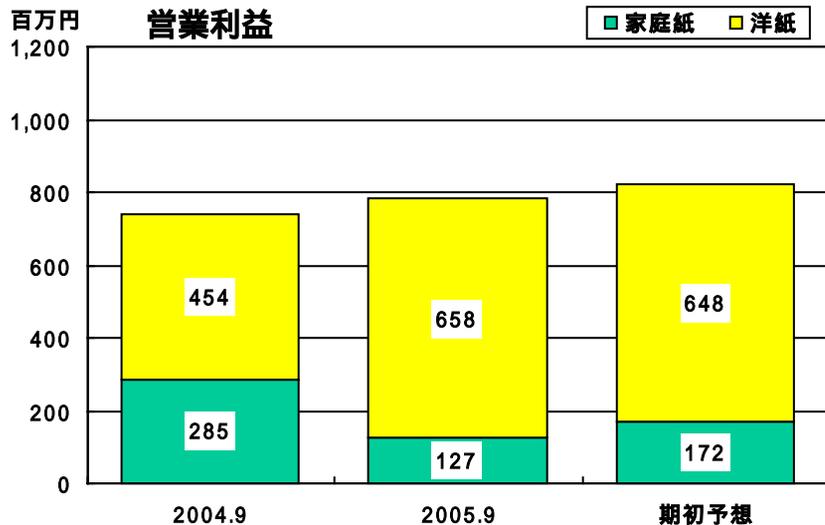
国内・ABS製品の移管、鋼材等の原材料値上げにより減益

海外・増収効果などにより増益

紙製品事業



	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,876	285	5,270	113
その他	2,147	0	2,014	14
家庭紙計	8,023	285	7,284	127
日清紡	5,529	510	6,088	635
その他	2,423	56	2,287	23
洋紙計	7,952	454	8,375	658
消去	1,888	2	1,647	5
合計	14,087	737	14,012	780



(売上高) 減収

家庭紙は市場価格低迷により減収

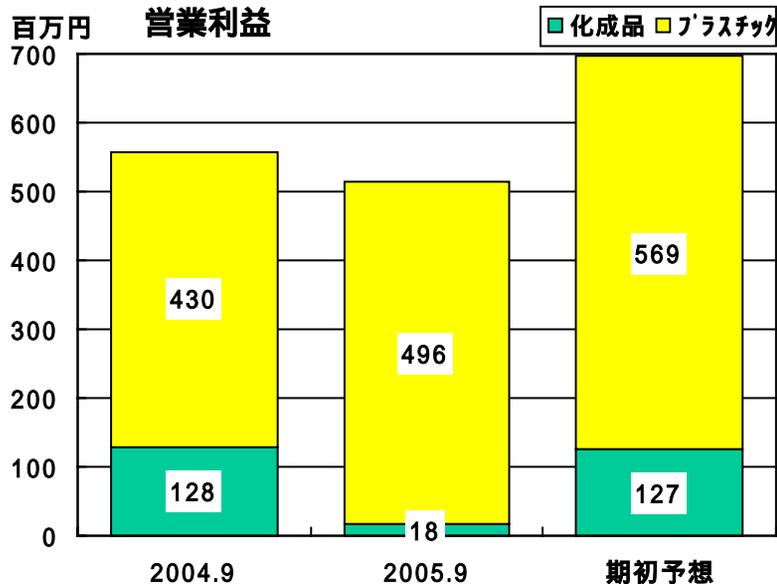
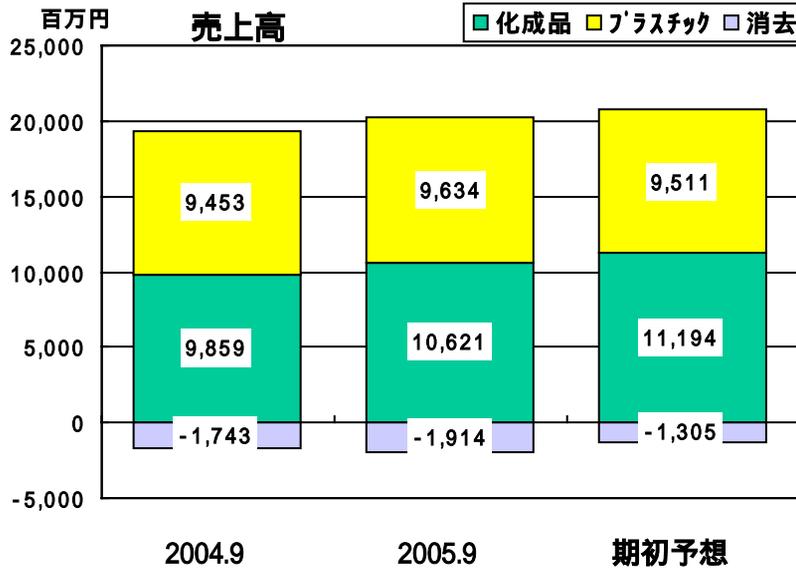
洋紙は新商品の拡販などにより増収

(営業利益) 増益

家庭紙は売上減、広告宣伝費増により減益

洋紙は開発商品などが寄与し増益

化成品事業



	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	4,892	79	5,281	31
その他	4,967	49	5,340	49
化成品計	9,859	128	10,621	18
日本高分子	5,183	30	4,495	65
タイ高分子	2,953	228	3,558	287
浦東高分子	1,317	172	1,581	274
プラスチック成型計	9,453	430	9,634	496
消去	1,743	4	1,914	19
合計	17,569	554	18,341	533

(売上高) 増収

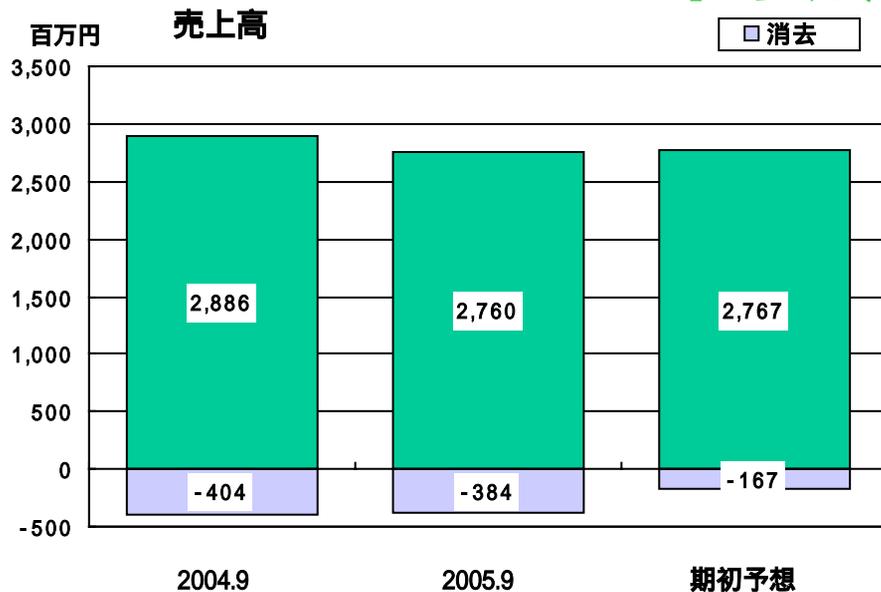
化成品は子会社の建材部門進出

プラスチック成型加工品は海外子会社受注増

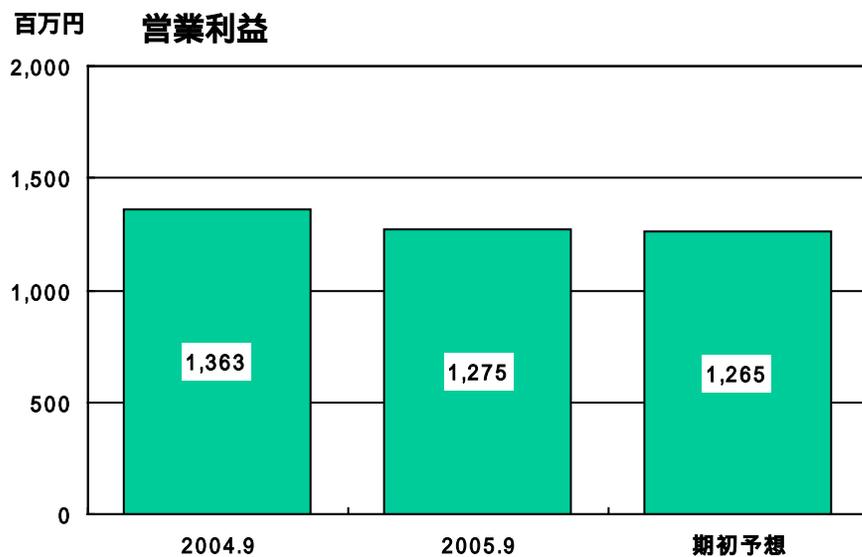
(営業利益) 減益

プラスチック成型加工品は好調、ウレタンが原料価格の上昇などにより減益

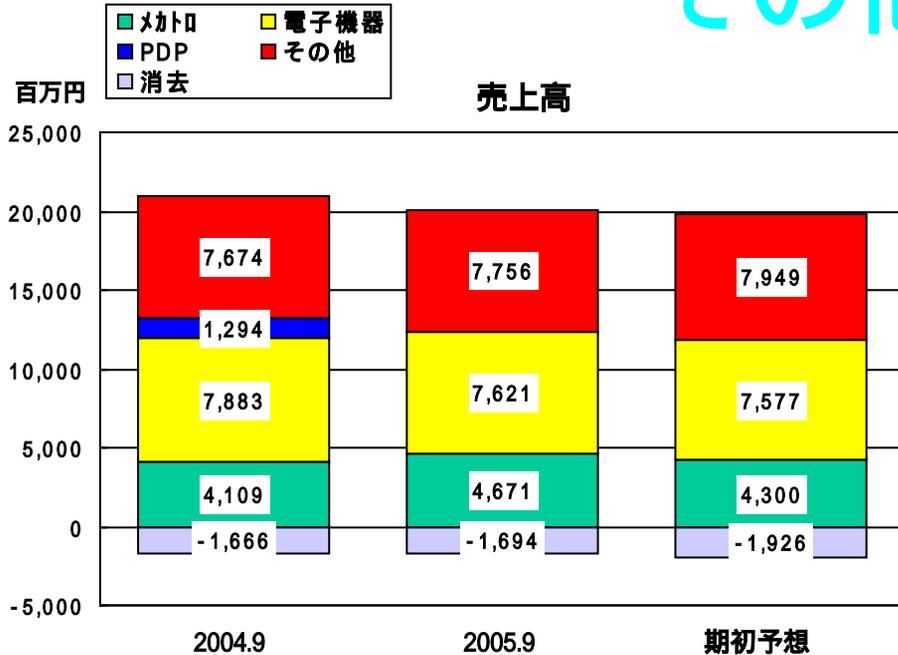
不動産事業



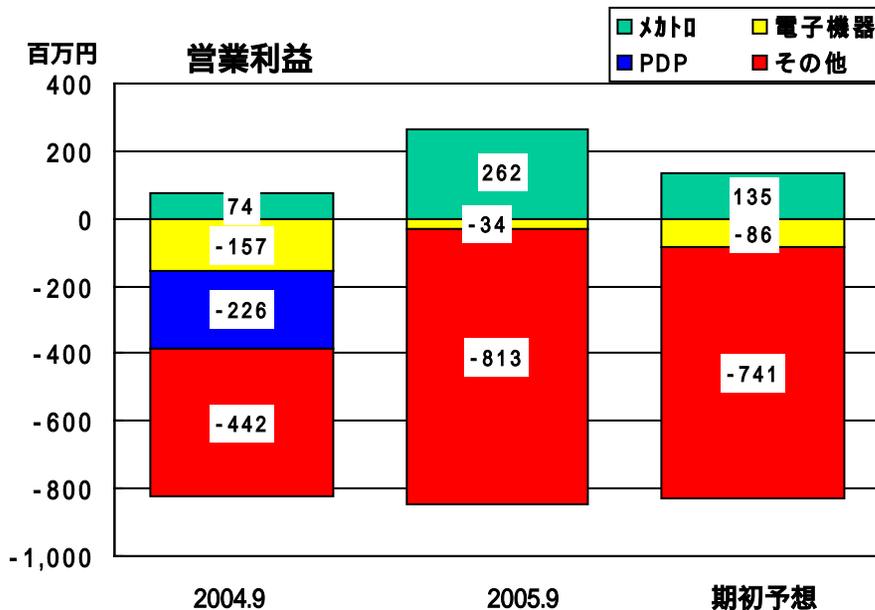
	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	1,853	1,151	1,802	1,101
その他	1,033	213	958	176
計	2,886	1,364	2,760	1,277
消去	404	1	384	2
合計	2,482	1,363	2,376	1,275



その他事業



	2004年 9月期		2005年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
メカトロニクス	4,109	74	4,671	262
電子機器	7,883	157	7,621	34
PDP	1,294	226	-	-
その他	7,674	442	7,756	813
計	20,960	751	20,048	585
消去	1,666	21	1,694	1
合計	19,294	772	18,354	586



(売上高)減収

メカトロ： 太陽電池製造設備、自動車製造ライン用機械
など受注増

燃料電池：セパレータ:家庭用燃料電池向け

機能化学品:カルボソライト受注増

(営業利益)赤字縮小

メカトロ： 売上増

電子機器：コスト削減による改善

機能化学品：増設設備立ち上がり期負担増

PDPフィルター：撤退効果

通期予想

百万円

売上高

百万円

	2006.3 予想	期初 予想	2005.3 実績	期初 差異
売上高	245,000	251,000	243,421	6,000
営業利益	10,000	10,500	9,651	500
経常利益	12,000	12,500	11,827	500
特別損益	900	1,600	1,036	700
税引前利益	11,100	10,900	12,863	200
法人税等	3,500	3,400	5,037	100
少数株主損益	(-)600	(-)500	373	100
当期純利益	7,000	7,000	8,199	-

	2006.3 予想	期初 予想	2005.3 実績	期初 差異
繊維	80,600	85,000	82,163	4,400
ブレーキ	56,500	55,300	54,306	1,200
紙	28,500	29,700	28,584	1,200
化成品	34,100	36,900	34,199	2,800
不動産	5,000	5,000	4,945	0
その他	40,300	39,100	39,222	1,200
売上高計	245,000	251,000	243,421	6,000

営業利益

百万円

	2006.3 予想	期初 予想	2005.3 実績	期初 差異
繊維	1,000	1,600	217	600
ブレーキ	5,600	5,900	6,258	300
紙	1,700	1,700	1,700	-
化成品	600	900	822	300
不動産	2,550	2,600	2,736	50
その他	530	900	865	370
全社	920	1,300	1,220	380
営業利益計	10,000	10,500	9,651	500

期初予想比では、売上高、営業利益、経常利益は若干の減額、当期純利益は変わらずと予想。

(売上高)

繊維部門は国内が低価格志向続き減収。化成品は国内が軟質ウレタンや子会社のプラスチック加工事業低迷で減収。ブレーキはABSの営業移管による減収を補い、マトロクス(その他)も増収を見込むが全体では減収。

(営業利益)

繊維部門のインドネシア子会社がエネルギーコスト上昇の影響を受ける。マトロクスの業績寄与と機能化学品の採算改善(その他)、試験研究費負担の減少(全社)あるが減益を予想。

(特別損益)

前期の特別要因(厚生年金基金代行返上益の計上、減損損失計上)はなくなる。子会社有価証券売却益の計上等により期初予想比改善。

経営3カ年計画2006

(2004.3 ~ 2006.3)

本年度スローガン

「3カ年計画2006の達成」

基本事項

収益力を強化して、企業価値の増大を目指す。

重視事項

- ・事業計画: セグメント別事業計画を策定し、実施結果を確認する。
- ・業績評価: 業績評価基準により、毎期セグメント別業績を評価。
- ・連結経営: グループ会社の経営力を強化。
- ・新規事業: 研究開発テーマの事業化を全社的に推進。

売上高

億円

	2005.3 計画	(実績)	2006.3 計画	(予想)
繊維	790	821	790	806
プレ-キ	515	543	520	565
紙	310	285	325	285
化成品	350	341	370	341
不動産	55	49	55	50
その他	430	392	440	403
計	2,450	2,434	2,500	2,450

営業利益

億円

	2005.3 計画	(実績)	2006.3 計画	(予想)
繊維	19	2	20	10
プレ-キ	53	62	58	56
紙	13	17	15	17
化成品	8	8	11	6
不動産	25	27	25	25.5
その他	8	8	4	5.3
全社	-	12	-	9.2
計	110	96	125	100

当社製品(1)



ノンケアの特長

- ・ 洗濯後も干すだけで美しい仕上がり
- ・ 綿100%の上質な風合い
- ・ 縫い目の細かいシワも気にならない仕上がり
- ・ 一日中着用しても型崩れしない



SSP



通常品

日清紡SSPは、夢の革新技术「液体アンモニア加工」によって、綿をはじめとするすべてのセルロース繊維の性質を根本的に変化させ、さらに、縫製の後にノーアイロンレベルの形態安定性を持たせるポストキュアの手法を採用することにより、高度の形態安定性を付与したノーアイロン製品です。



ブレーキライニング & アセンブリー

ドラムブレーキ用の摩擦材であるブレーキライニングは、軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されています。信頼できる制動力と、様々な条件下での性能安定性や耐久性を持ち、皆様の安全をサポートしています。



ディスクパッド & アセンブリー

ディスクブレーキに装着される摩擦材であるディスクパッドは、普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広いラインナップをそろえています。優れた制動力と心地よい制動フィーリング、また様々な条件下での性能安定性や耐久性も実現しています。

当社製品(2)



アンチロック・ブレーキ・システム

ABSを装着することにより、雨天時や雪道、悪路などで急ブレーキをかけた場合でも、車輪のロックを防止し、スピンせずハンドル操作ができるため、安定した制動・停止をすることができます。



スタビリティコントロール(ESP)

スタビリティコントロール(ESP)は、すべりやすい路面で自動車のハンドルをきいても、安定した走りを得るために開発された最新のシステムです。



毎日のシャワートイレをもっと快適にするトイレティッシュ



家庭紙の豊富な商品バリエーション



コットンから生まれた やわらかティッシュ 「コットンフィール」

自然の恵みの中で育ったピュアコットンをミックス。いままでにないやさしさとやわらかなフィーリングに仕上げました。赤ちゃんからご年配の方まで、安心してお使いいただけます。



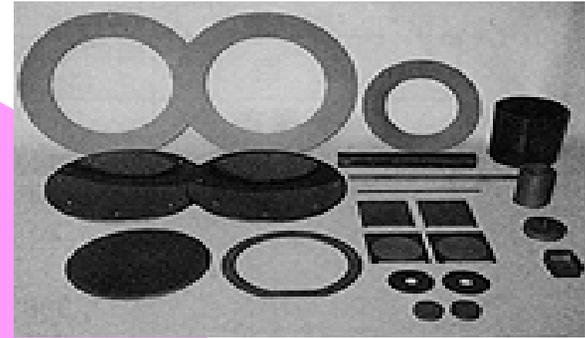
ファインペーパー

高級感のある上質な風合いと高度な印刷適性をそなえた高級印刷用紙です。書籍、ポスター・カタログ・カレンダー、ステーションナリーなどに使用されています

当社製品(3)



「エアライトフォーム」のブランドでおなじみの当社硬質ウレタンフォームは、お客様の要望に応じ、いろいろな形で販売しております。「エアライトフォーム」は、その優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のワールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連に使用されています。又、断熱材分野以外にも、土木分野、合成木材、スポーツ用品等、幅広い用途があります。



ガラス状カーボン

独自の技術で開発したガラス状(アモルファス)カーบอนは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特徴です。



モビロンは、弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)です。テープやコード状など多様な形状に成形可能です。



クロス・フロー・ファン

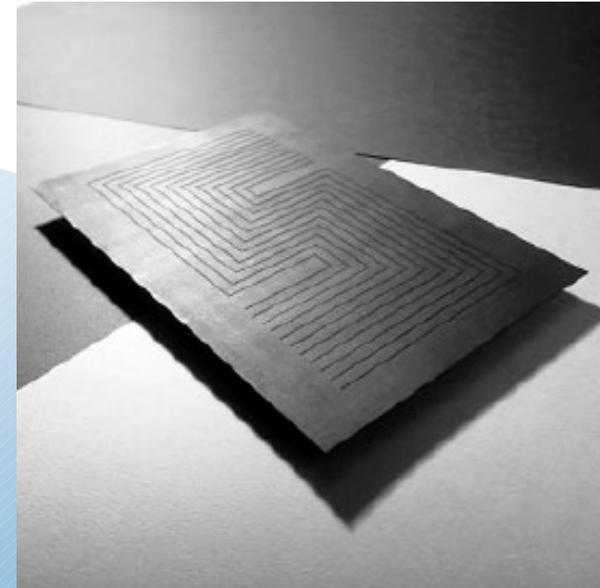
プラスチックファン業界においてはNo.1シェアを誇っておりますが、その最大の要因は回転体技術にあります。空体力学を駆使して風量、風圧、騒音、回転数など、バランスのとれた性能を実現しております。

当社製品(4)

電気二重層キャパシタ

高温から低温まで、幅広い温度条件に対応可能

日清紡・電気二重層キャパシタは、実装性に優れた角型構造を採用。
従来の円筒形のキャパシタに比べ、大幅な省スペース設計が可能になりました



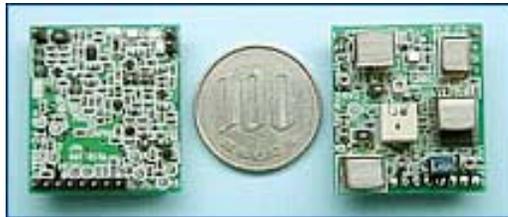
燃料電池用セパレータ

水の電気分解とは逆に、水素と酸素を結合させて水をつくることで電気を起こす「燃料電池」。燃料電池の種類はいくつかありますが、燃料電池事業部では、固体高分子型燃料電池の心臓部にあたるカーボンセパレータを開発し、量産を開始しています。

当社製品(5)

(電子機器)

(無線通信機器)



❖ 双方向無線モジュール

(電子応用機器)



❖ 自動通報装置 / 双方向デジタル伝送装置

(超音波関連機器)



❖ 超音波膜厚計 LU-200

(メカトロニクス)



ソーラーバッテリー製造設備
シミュレータ